

令和6年度第2回八千代市廃棄物減量等推進審議会（要旨）

日時：令和7年1月21日（火）

午後2時00分から午後2時30分まで

会場：八千代市役所 旧館4階第1委員会室

1. 議題

- （1）「プラスチック類の分別収集及び再商品化に係る方針（素案）」について（答申）
- （2）八千代市一般廃棄物処理基本計画の改訂について（答申）
- （3）その他

2. 出席者

（委員）	斉 藤 崇	新 井 善 久
	櫻 岡 裕 之	的 場 幸 子
	武 藤 良 博	岡 田 淳 吾
	小 川 弘 之	高 崎 純 子
	池 田 延 史	亀 井 光 子
	竹 花 富美子	

（事務局）	経済環境部長	加 藤 博 士
	経済環境部次長	石 原 雄 二
	クリーン推進課長	陰 山 路 加
	清掃センター所長	西 本 公 威
	クリーン推進課副主幹	中 山 賢 司
	清掃センター副主幹	杉 山 賢
	クリーン推進課主査	千 葉 真 介
	クリーン推進課主査補	関 口 勇 治
	クリーン推進課主査補	久保出 勇 輝
	清掃センター主査補	坂 爪 俊
	クリーン推進課主事	菅 野 凌 平
	クリーン推進課主事	藤 田 一 慧

3. 公開または非公開の別 公開

4. 傍聴人数 0名（定員8名）

5. 会議内容 以下のとおり

1 開会

会長より出席委員について説明し、事務局より開会の説明を行った。

2 議題

(1) 「プラスチック類の分別収集及び再商品化に係る方針（素案）」について（答申）

事務局より、審議会及びパブリックコメントにおいて、「プラスチック類の分別収集及び再商品化に係る方針（素案）」に寄せられた意見と市の考え方について、「資料 1・(1)審議会におけるご意見と市の考え方」、「資料 1・(2)プラスチック類の分別収集及び再商品化に係る方針（素案）に寄せられたご意見と市の考え方（パブリックコメント）（案）」を基に説明した。説明内容の概要は以下のとおり。

- ・前回の審議会開催後、審議会の委員の皆さまからは、複数のご意見をいただいた。
- ・プラスチック類の分別収集を開始する際に、十分な周知期間を設けた方が良いとのご意見をいただいた。市としては、市民への丁寧な説明と周知が不可欠であるため、広報紙や市ホームページ、説明会などの様々な手法により周知を行っていく。
- ・プラスチック類の分別収集に併せて、可燃ごみを週 3 回から 2 回に変更することにより、市民サービスが低下しないよう配慮し、市民の理解を得るために説明する必要があるとのご意見をいただいた。市としては、プラスチック類の分別収集の開始とこれに伴う可燃ごみの収集回数の変更を実施する場合には、本市の 4 R の取り組みや、ごみの減量化の重要性を説明しながら、市民へ理解を求めていく。
- ・収集対象品目について、金具等を含む複合素材のものや、汚れたプラスチック類が収集可能なのか、プラスチックの種類ごとに分別が必要なのか等、分別方法の詳細については、市民へ説明する必要があるとのご意見をいただいた。市としては、収集対象品目は、プラスチック素材 100% のものを前提として考えているが、今後事業者と調整しながら収集対象品目を決定し、十分な期間を設けながら周知を行っていく。
- ・市民の皆さまからは、パブリックコメントで 8 件のご意見をいただいた。
- ・パブリックコメントでは、プラスチック類の分別収集に併せて可燃ごみの収集を週 3 回から 2 回に変更する点の懸念や、プラスチックの正確な分別に対する不安等の意見があった。一方、可燃ごみの収集を週 2 回に変更し、プラスチック類の収集を週 1 回にすることについての賛成意見やプラスチックが分別収集されることによる焼却熱量の低下に対する懸念等について意見が寄せられた。

斉藤会長：ご意見を踏まえ、「資料 1・(3)」のとおり答申案を作成した。答申にあたり、①国や県などの新たな施策に対応できる方針となっているかということ、②八千代市の特性を考慮した方針になっているかということ、③循環型社会推進に寄与する方針になっているかということの 3 点に関して、いずれも対応できていると判断し、答申内容を取りまとめた。答申案について、ご意見がなければ、答申案のとおり

答申を行ってよいか。

委員一同：（異議なし）

斉藤会長：それでは、答申案のとおり、事務局を通じて市長に答申させていただく。

（２）八千代市一般廃棄物処理基本計画の改訂について（答申）

事務局より、審議会及びパブリックコメントにおいて、「八千代市一般廃棄物処理基本計画（改訂版）（素案）」に寄せられた意見と市の考え方について、「資料 2-1）八千代市一般廃棄物処理基本計画（改訂版）（素案）」に係る八千代市廃棄物減量等推進審議会におけるご意見と市の考え方、「資料 2-2）八千代市一般廃棄物処理基本計画（改訂版）（素案）」に寄せられたご意見と市の考え方（パブリックコメント）（案）」を基に説明した。説明内容の概要は以下のとおり。

- ・ 前回の審議会開催後、審議会の委員の皆さまからは、2 件のご意見をいただいた。
- ・ 本編の「ごみ排出量」の棒グラフにおいて、人口増加の中、ごみ総排出量は減少傾向にある状況を視覚的に伝えるため、人口の推移についても併せてグラフに入れた方が良いのではとのご意見をいただいた。市としては、いただいたご意見を基に、ごみ排出量の棒グラフに人口の折れ線グラフを追加し、本文の文章を併せて修正することとした。
- ・ プラスチック類の分別収集に併せて可燃ごみを週 3 回から 2 回に変更することについて、市民の理解と協力を得ることは並大抵のことではなく、アナウンスの努力が必要とのご意見をいただいた。市としては、プラスチック類の分別収集の開始ならびに可燃ごみの収集回数の変更を実施する場合には、市民への丁寧な説明と周知が不可欠と考えている。なお、一般廃棄物処理基本計画（改訂版）においては、【資料編】の 23 ページ以降に「プラスチック類の分別収集及び再商品化に係る方針」を掲載し、周知を行うものとしている。
- ・ 市民の皆さまからは、パブリックコメントで 15 件のご意見をいただいた。
- ・ 意見としては、プラスチック類の分別に関するものが多く、収集方法の提案、環境に配慮した効率の良い施設などの実現、再資源化の促進などの意見が寄せられた。

斉藤会長：議題（１）と同様に、ご意見を踏まえ、「資料 2-3）」のとおり答申案を作成した。

答申にあたり、①ごみ処理基本計画策定指針、生活排水処理基本計画策定指針並びに国、県の計画に示されている内容と合致しているかということ、②国や県などの新たな施策に対応してできる計画となっているかということ、③八千代市の特性を考慮した方針になっているかということ、④循環型社会推進に寄与する方針となっているかということの 4 点に関して、いずれも対応できていると判断し、答申内容を取りまとめた。

新井委員：答申案にも記載のある「再くる都市 八千代」はどのような意味なのか。

事務局：令和 3 年 3 月に策定した一般廃棄物処理基本計画における基本方針内に定めてい

るものである。八千代市では、「再くるくん」というイメージキャラクターがあり、それとリサイクルをかけた分かりやすいキャッチフレーズとして位置づけ、使用している。

斉藤会長：そのキャッチフレーズを含めて、さらに周知をすることが重要ではないかと考える。その他、答申案について、ご意見がなければ、答申案のとおり答申を行ってよいか。

委員一同：（異議なし）

斉藤会長：それでは、答申案のとおり、事務局を通じて市長に答申させていただく。

答申内容の確定にあたり、服部市長に代わり、加藤部長より2つの答申の審議に対する御礼の挨拶を行い、循環型社会形成に向けた八千代市の取り組みの方向性について説明した。

（3）その他

事務局より、令和5年度の実績に対する評価について、参考資料「令和6年度八千代市一般廃棄物処理基本計画評価（令和5年度実績）」を基に説明した。説明内容の概要は以下のとおり。

- ・令和5年度の実績値は、人口が予測よりも増えたことから、ごみの総排出量は目標値をやや上回っているものの、1人1日当たりのごみ総排出量は目標を達成している。
- ・一方で、リサイクル率と最終処分量については、目標未達成となっている。

小川委員：プラスチックの収集について、分別収集開始直後はプラスチックが多く排出されると思われるが、徐々に排出量が減っていった場合、市が事業者にはペナルティを払うようなことはあり得るか。

陰山課長：事業者との契約はごみの量によって見直しが行われるが、ペナルティは基本的に発生しないものと考えている。

小川委員：再商品化について、プラスチックに対する技術革新を進めている事業者との契約は問題ないか。

陰山課長：八千代市と契約可能な業者は、令和5年度のサウンディング調査から変わっていないが、技術革新を進める事業者が増えた場合は、注視して調査をしていきたいと考えている。

新井委員：令和6年度の八千代市の一般廃棄物基本計画評価の目標値に対する評価について、この数値自体は、国の数値に基づいて評価されたと前回の審議会で伺ったが、例えば、八千代市と似たような自治体の実績との比較はされているのか。

陰山課長：今回改訂する一般廃棄物処理基本計画内で、類似団体との比較をしている。また、千葉県においても県内のごみ量の調査が毎年度実施されており、令和4年度分の実績がホームページ等で閲覧できるようになっている。八千代市は、資源ごみや

事業系ごみ，家庭系ごみの全てを含んだ1人1日当たりのごみ総排出量については，令和4年度は県内の市の中では2番目に優秀な結果となっている。今後，プラスチックの分別収集などにより，高水準を維持していきたいと考えている。

以上